取扱説明書番号
M349－RXXZ

RHYTHM

クオーツ
報時付掛時計　取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製　造
発売元　**リズム時計工業株式会社**
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

（Y1401）

電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差　±20秒　(常温中のクオーツ精度)
報時精度	毎正時に対して±30秒
報時音	電子音
使用温度範囲	−10℃～+50℃
使用電池	単2形マンガン乾電池　JIS規格　R14P　2個
電池寿命	約1年　報時　音量中位、夜間自動停止 ㊟
報時機能	報時音切替スイッチにより4種類から選択
音量調節	ロータリー式ボリューム
夜間自動停止	午後11時から午前5時45分まで報時を停止
飾り振り子	装飾用

㊟報時スイッチを4×4WESTMINSTERで使用したときは、約7ヵ月になります。単2形アルカリ乾電池を使用すると約1年になります。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

振り子	1個	木ねじ	1個	電池	2個
取扱説明書	本書	保証書	1枚		

お問い合わせ先

■お客様相談室　フリーダイヤル　0120-557-005
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。　例．4MJA○○

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いませんので、ご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る　**誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止　**電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

●電池をショートさせない。　●電池を充電しない。
●電池に傷をつけない。　●分解しない。
●電池を加熱しない。　●火の中に入れない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
故障や誤作動の原因になります。

分解禁止　**分解や改造をしない**
故障の原因になります。

必ず守る　**落としたり、たたいたりして衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

禁止　下記のような場所では使わないでください。
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●暖房機器からの風が当たる所
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プールや温泉場など、ガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（＋）、マイナス（−）を間違えない。　●時計が動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

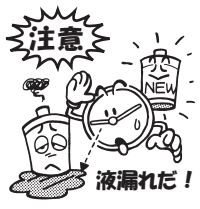
●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の交換について

⚠注意　電池からの液漏れにより、**時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。**

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

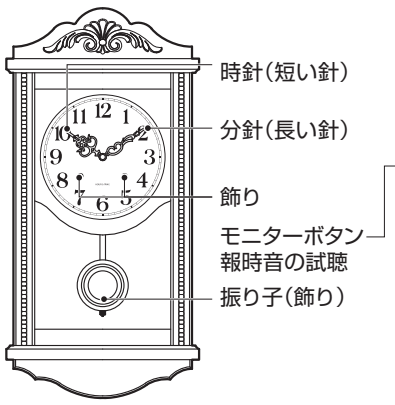
●時計が停止したときは、すぐに新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
※電池は、報時を使用しないと長持ちしますが、液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。
※アルカリ乾電池を使用することができます。

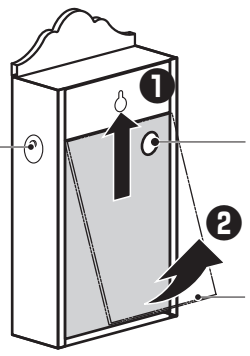


各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

《裏ぶたの取り外し／取り付け》



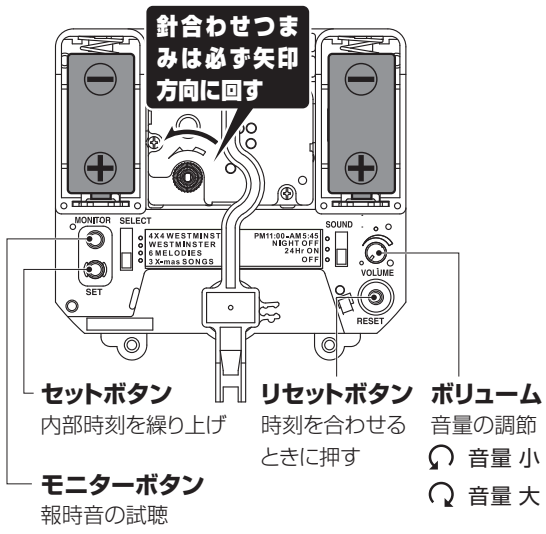


裏ぶたを取り付けるときは、取り外すときと逆の手順で取り付けてください。

《電池の入れかた》

電池は図のように正しい向きに入れてください。

電池の⊕⊖の方向を間違えると破裂･発熱・液漏れの原因になります。



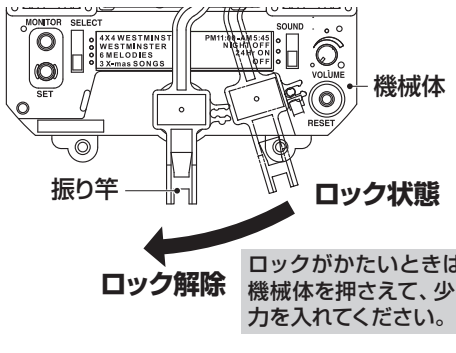
セットボタン
内部時刻を繰り上げ

リセットボタン
時刻を合わせるときに押す

ボリューム
音量の調節
音量 小
音量 大

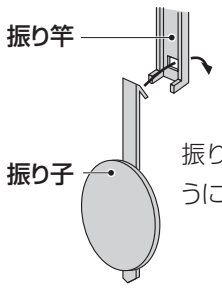
モニターボタン
報時音の試聴

《振り竿ロックの解除》



ロックがかたいときは、機械体を押さえて、少し力を入れてください。

《振り子の取り付け》



振り子が正面を向くように掛けます。

セットボタンによる時刻の繰り上げ

▶セットボタンを1回押すと、内部時刻が1時間繰り上がります。このとき、表示時刻は変わりません。

▶リセットボタンを押さないで、セットボタンを12回押すと午前から午後または午後から午前に内部時刻が変わります。

セットボタンの操作例……午前10時20分に合わせる

①針合わせつまみを回して10時20分に合わせます。

②リセットボタンを押します。→内部時刻が午前5時45分になります。

③セットボタンを5回押すと内部時刻が午前10時になります。

※設定後、時間が経過して分針が12時位置になったときから内部時刻と表示時刻が一致します。

時計の掛けかた

⚠ 注意　掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

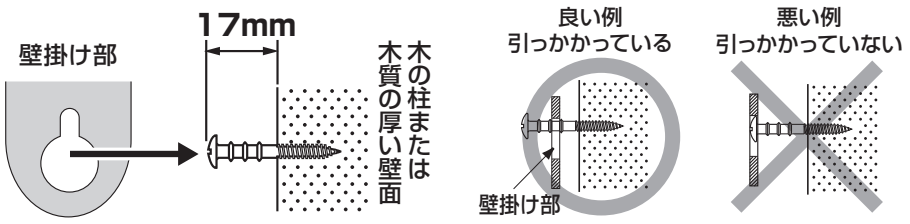
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外に掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

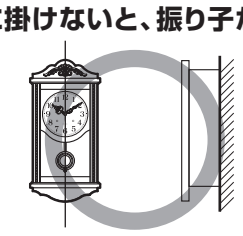


その他の壁面の場合

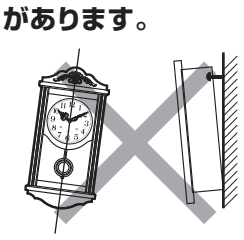
●石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

■垂直に掛けないと、振り子が止まることがあります。

良い例



悪い例



時計の使いかた

裏ぶたを取り外し、取り付け

電池を入れる・振り子を取り付ける・時刻合わせる・報時を設定するときには、裏ぶたを取り外してください。操作終了後は、裏ぶたを取り付けてください。

1. 単2形乾電池を2個、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる

2. 時刻を合わせる

この時計は、午前または午後を設定する必要がありますので、電池を入れたあとは、必ず時刻合わせを手順にしたがって行ってください。

◎手順に従わないで時刻を合わせた場合、報時や夜間自動停止が正しく機能しなくなります。

◎針合わせつまみを矢印と逆向きに回したときや時針が12時を通過する回数を間違えたときは①からやり直してください。

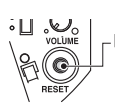
◎電池を入れて操作してください。

---

①針合わせつまみを回して5時45分に合わせる

②リセットボタンを押す……時計内部の時刻が午前5時45分になります。
※リセットボタンを押すと、針の位置に関係なく内部時刻は午前5時45分になります。

③針合わせつまみを必ず矢印方向に回して現在時刻に合わせる

5時45分に合わせる ➡ 

リセットボタンを押す ➡ **針合わせつまみを回して現在時刻に合わせる**

現在時刻により、時針が12時を通過回数が異なりますので、条件に従って合わせてください。

現在時刻

午前 0 時～午前5時44分	午前5時45分～午前11時59分	午後0時～午後11時59分
例 . 午前0時40分	例 . 午前11時10分	例 . 午後3時40分
時針を2回、12時を通過させて合わせる。	**時針は、12時を通過させない。**	**時針を1回、12時を通過させて**合わせる。

※設定後、時間が経過して分針が12時位置になったときから内部時刻と表示時刻が一致します。

※時刻の合わせ方として、セットボタンを併用する方法があります。別項「セットボタンによる時刻の繰り上げ」をご覧ください。

3. 報時の設定

報時スイッチで鳴らし方、報時音切替スイッチで報時音の種類を選んでください。

報時を使用するときには、事前に音量を調節してください。

※使用しているときに、報時の数取りが表示時刻と異なったり、夜間自動停止の時間帯が違っているときは、時刻を手順に従って合わせ直してください。

夜間自動停止は、午後11時から午前5時45分まで報時を停止します。

報時音切替スイッチ

Ⓐ毎正時、15、30、45 分にウェストミンスターチャイムを奏で、毎正時に数取り報時する。

Ⓑ毎正時にウェストミンスターチャイムを奏で、数取り報時する。

Ⓒ毎正時にクラシックを1曲奏でる。

Ⓓ毎正時にクリスマスソングを1曲奏でる。

◇数取りは、時刻に対応した数の電子音が鳴ります。例えば12時であれば12回「ボーン」と鳴ります。

◇Ⓐはウェストミンスターを(a)(b)(c)(d) の4つに分割し、
15分：(a)　30 分：(a)(b)　45分：(a)(b)(c)　0分：(a)(b)(c)(d) を奏でます。

◇クラシックおよびクリスマスソングの曲目は時計裏面に表示

◇クラシックやクリスマスソングの奏でる順番の変更や特定の時刻に曲を固定することはできません。

報時音切替スイッチをⒶ 4×4 WESTMINSTER で使用するときのご注意

▶時刻を修正した後は、時間が経過して、分針が12時位置を通過するまで、15/30/45分の報時が針が指している時刻と合わないことがあります。

▶針合わせつまみを回して、分針を15分、30分または45分に合わせても報時しません。

報時音の試聴

▶時計側面のモニターボタンまたは機械体のモニターボタンを押すと報時音を奏でます。

●報時音は自動的に停止します。

●奏でる報時音は、報時音切替スイッチの設定に従います。

音量の調節

▶モニターボタンを押して報時音を聞きながら、ボリュームを回して調節してください。

4. 振り竿のロックを解除して、振り子を取り付ける

必ず振り竿をロックを解除して、振り子を取り付けてください。

※輸送するときは、振り子を取り外して、振り竿をロック状態にしてください。

5. 裏ぶたを取り付ける

6.「時計の掛けかた」に従って、落下しないようにしっかり掛ける

ラジオなどの受信機への影響

時計のすぐそばでラジオなどの受信機を使用した場合、報時するときにラジオにノイズが入ることがあります。このようなときには受信機を時計から離してご使用ください。